

3・4

2025 令和7年
No.214

あ ま の す け だ け よ り



地域の気になる施設を紹介「Sauna Base SHIFUKU」 サウナ ベース シフク

県道39号を追分交差点から田振町に向かうと、巴川の対岸に煙突の付いたテントが並ぶ施設があり、気になります。それは、自然の中で『至福』のアウトドアサウナ体験ができる、Sauna Base SHIFUKUです。今回は、SHIFUKUを運営されている、代表取締役の船屋 隼さん（28歳）にお話を伺いました。



巴川河畔に並ぶテントサウナの前で

店舗情報

- ・LINEで事前予約
- ・プライベートサウナプラン
最大8名まで
- ・パブリックサウナプラン
最大30名まで
- ・駐車場20台
- ・男女別脱衣所
(空調完備)
- ・シャワー2室
- ・男女別トイレ

↓HPは
こちらから



Sauna Base SHIFUKUはどんなところ？

自然豊かな足助でテントサウナが楽しめる施設がSauna Base SHIFUKU。テントサウナの中は、薪ストーブで100℃近くになります。その熱い空間で体を温めた後、川に飛び込んで火照った体を冷やせる東海地方初の川サウナ。大自然に包まれて、ゆったり『整う』体験ができます。パブリックサウナは相席でワイワイ、貸切プランを利用すればバーベキューも楽しめます。また、プライベートサウナでは最大8名まで利用可能で、大切な人や仲間とプライベートな空間でアウトドアサウナを満喫できます。



パブリックサウナ



プライベートサウナ

開業した経緯

船屋さんの前職はサラリーマンで、飛行機を作っていました。コロナ禍で生産が止まり、将来に不安を持ったことをきっかけに、自分自身が一番成長できるのは経営に挑戦することだろうと考えたそうです。サウナが好きで、特に川サウナが大好きだったことから、川サウナを経営することにしました。

川サウナをはじめようと、愛知県中の川沿いを車で走って探していたときに、目に留まったのが足助の巴川河畔の場所でした。隣接する旅館に聞いてみたら、「空いているよ」ということだったのでこの場所に決めたそうです。



サウナの魅力を熱く語る船屋さん

お客さんは全国から

お客さんはInstagramなど、SNSの情報をみて来店。近隣だけでなく、静岡、東京、岡山など、全国からいらっしゃいます。川サウナを目当てに足助に来る方の中には、香嵐溪を知らない方もいるのだとか。

スタッフも増えて、現在は11名。大半が豊田市在住の方ですが、岡崎市や江南市の方もいらっしゃるそうです。

トップクラスのテントサウナ設備

テントサウナの設備は、トップクラスのクオリティー。スチームジェネレーター（薪ストーブの上に設置された蒸気を出す装置）は東海地方ではここにしかなく、これを目当てに来店される方も多いとか。



スチームジェネレーター

テントサウナフェスの開催

昨年の10月には、東海地方最大級のテントサウナフェス『どえりゃあ蒸気源』を初開催。3日間で200名以上の来場がありました。テントサウナが災害時に役立ったという事例など、様々な活用方法が紹介されました。

今後は、サウナを窓口にして、地域活性化につながるような取組を展開したいので、連携先を募集中だそうです。

取材動画公開中！

今回はインタビューの様子と、テントサウナを案内してくださっている様子を紹介しています。是非ご覧ください！



船屋さんによると、「このお店の完成度はまだ50%位」とのこと。宿泊可能なログハウスやキャンプ場、バーベキュースペースや水風呂も作りたいそうです。進化し続けるSauna Base SHIFUKUの今後が楽しみです。

（あすけ通信編集委員 高木伸泰）

あすけ[⊗]羅針盤

あすけ[⊗]羅針盤は、足助地域会議委員が足助の魅力や元気な活動をお届けします。
令和6年度わくわく事業団体のうち3団体の活動内容を紹介します！

わくわく事業紹介

足助守宮会（代表：島川 春樹）

手筒花火団体の結成と放揚事業（申請回数：1回目）

- ・足助の新たな魅力として手筒花火を実施・定着させ、参加者や住民の地域愛の醸成や、観光誘客による地域活性化を目指して活動しています。
- ・この取組を通して、若い世代や子どもたちが地域活動に興味を持ち、将来の地域の担い手につながるきっかけになればと思います。



手筒花火の制作（火薬詰め）



夏まつりでの手筒花火の放揚



協力いただいた小原宴火メンバーと会員

わくわく事業紹介

麺の会（代表：河合 徳人）

「竹灯り」による足助の活性化と担い手育成事業（申請回数：1回目）

- ・竹林整備などで伐採された未利用竹で竹灯りを製作し、足助の町中や香積寺でイベントを行っています。取組を通じて、足助や香嵐溪の活性化につなげていきたいと思っています。
- ・また、足助に住んでいる若い世代に積極的にイベントに参加してもらうことで、より強いつながりができるきっかけになればと思います。



設置の様子



竹灯りの様子



片付けの様子

わくわく事業紹介

そのうたMIUCHI（代表：矢澤 英介）

校舎を拠点として地域に交流を生み、人々が楽しんで生きる
きっかけとなる事業（申請回数：1回目）

- ・4月から御内の若手が中心となって、90年の歴史ある旧御内小学校を地域の拠点・学び舎として、御内のこれからを生み出していく場所として活用が始まりました。
- ・コンセプトは、「①山を楽しみ山を学ぶ ②音楽を楽しむ ③人の生み出す手仕事・表現の世界を共有する」とし、豊かな御内の自然の中で「体感」することを基としています。
- ・川沿いの教室を音楽室として、防音・防寒対策としてサッシ扉を取り付け、音楽室利活用実験を行い、次年度の活動に繋げていきます。



金蔵連楽団が唄を歌う様子



旧校舎で地域のみなさんと談笑する様子



子どもたちがのびのびと遊ぶ様子

～地域会議の活動紹介～（子育て問題検討分科会）

現在、子育て問題検討分科会では、山村地域における子育て環境を充実するための地域課題の整理や子育てを取り巻く新規事業の検討を行っています。実際に、足助地区で子育て中の方々との意見交換会を複数回開催し、足助で子育てをする中で何が課題となっているのか話し合いました。

特に多かった意見として、「足助地区内の各小学校が今後も存続するのか」、「子どもたちの遊び場の不足」、「子育て情報の発信不足」などが挙げられました。こうした意見を参考にしつつ、課題解決に向けて1つでも具体化できるように取り組んでいきます。



地域会議では、通常の会議のほかに「新規課題事業検討分科会」、「子育て問題検討分科会」、「高齢者課題検討分科会」の3つの分科会に委員がそれぞれ属し、足助地区の課題解決に向けて取り組んでいます。

こんにちは！足助包括です！

12月から新メンバーが
加わりました！

自己紹介

名前：田島 浩子

職種：介護支援専門員

趣味：カラオケ、ハイキング

（休日は1万歩目標に歩いています）



足助の良いところ：緑豊かで空気がおいしい。紅葉は最高！自然に癒されます。地域の方々の温かみも感じています。メッセージ：今までの経験をいかし、この地域でお役に立てるお仕事ができるように頑張ります。

高齢者総合相談窓口
足助地域包括支援センター
電話：62-0683（直通）

杜協だより

～そうだ！



（杜協足助支所）へいこまい～



百年草障がい者デイサービスセンターの紹介

クリップ
（磁石付きもあります）



ミニトートバッグ



ビーズブレスレット



“笑”顔と“福”溢れる、手作り製品はいかがですか？

百年草障がい者デイサービスセンターでは、障がいのある方が創作活動・体力づくり等の日常生活訓練を行い、生きがいづくりと社会参加の促進を図っています。

創作活動の中で作った製品は「笑福」という名称で、ホテル百年草2階お土産コーナーや足助のイベントなどで販売しています。見つけた際は、ぜひお手に取ってご覧ください！

車いすの方も入浴・送迎できます♪

＜問合せ＞ 豊田市社会福祉協議会 足助支所
百年草障がい者デイサービスセンター
担当：清水 TEL：0565-62-1857

令和7年度足助支所の当初予算

歳出予算額 5億6,189万3千円（前年度比 3.8%増）

※令和7年度当初予算は令和7年3月議会で承認される予定です。

主な事業費を紹介します。

香嵐溪費

1億7,416万1千円

●香嵐溪費

令和4・5年度に策定した樹木整備計画に基づき、杉の伐採やもみじの枯れ枝の除去を行います。

また、三州足助屋敷の簗屋の茅葺き屋根の葺き替えを行うとともに、山村の暮らしを支えた茅文化を体験していただくワークショップを開催します。



地域活動推進費

1億5,926万9千円

●足助地域バス運行費

足助地域バス「あいま〜る」は、地域住民の買い物や通院等の移動手段として、病院やスーパーのある市街地と各地域を結ぶ13路線を週2便運行しています。地域住民が安全で安心して利用できる生活交通を引き続き確保していきます。



地域課題解決事業費

3億9,642万円

地域住民の意見を市の施策として反映し、効果的に地域課題を解決するための予算です。

●地域定住対策費

地域が主体となって実施する定住促進活動を支援する事業や放課後児童クラブを利用する方を支援する事業を新設します。令和7年度も引き続き地域の声を聞いて、事業につなげていけるように取り組んでいきます。

●観光交流費

重要伝統的建造物群保存地区に選定されている足助の町並みを保存するとともに賑わいを創出するため、足助の町並み活用計画を策定し、行政・民間・地域が一体となってエリア再生に取り組みます。

お知らせ

令和7年4月1日から、粗大ごみの受付窓口が変わります。

【注意】支所では粗大ごみの受付ができなくなります。

①電話で申し込む場合：以下へお申し込みください。

受付場所	粗大ごみ受付センター
電話番号	0565-25-5353
受付時間	午前9時から午後5時まで
受付日	月曜日から金曜日（年末年始を除く）

②LINEで申し込む場合：右の二次元コードから読み取りできます。



※豊田市公式LINEを友だち登録していない方は、友だち登録からお願いします。



足助の巨大扇風機

はじまり日記「もしもシリーズ」
第6回 ノブセノブヨ

猛暑対策の一環として、令和〇〇年春から足助の町に巨大扇風機が設置され、試運転が始まった。電源を入れると爆風が吹き荒れ、砂埃は舞うわ洗濯物は吹き飛ばわ、猫や植木鉢が空を舞うわの大騒ぎ。町中がてんやわんやになるけれど、お祭りみたいな楽しさがやみつきになって誰もやめようとは言わなかった。何より終わった後のすうーとした空気。頭がカラッと晴れてくる。

ある日、遠い国の旅人が美しい花を持って訪れた。「突然うちの庭に生えてきて。どこから来たのって聞いたら「足助」って言うから、一緒に来ました。」

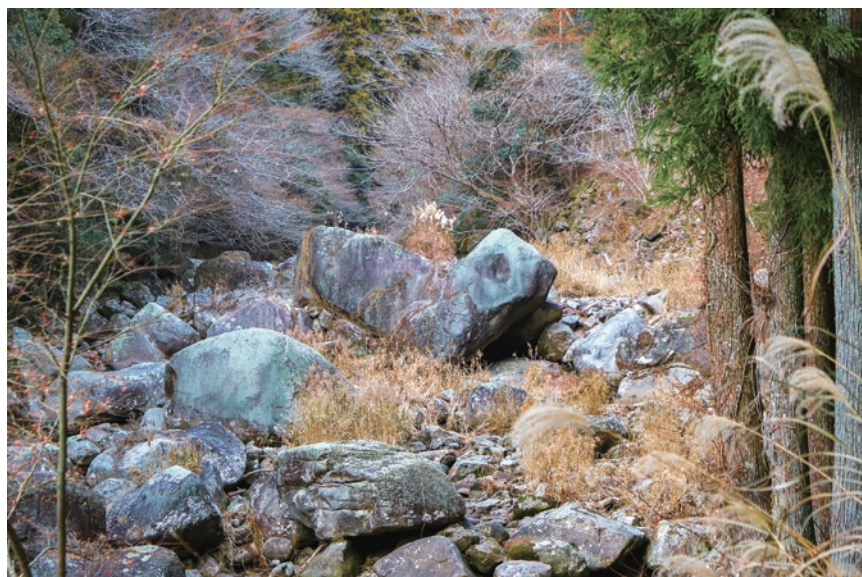
扇風機が起こした風は足助の種を世界中に運び、訪れた旅人はまた新しい種を足助の地で撒くだろう。

足助の名スポット紹介

こころ いわ 神越溪谷の守り神「心岩」



Googleマップ



神越溪谷を進むと、ハートの形をした「心岩」が現れます。この岩は神越溪谷の守り神として親しまれています。たくさんの岩のなかでも、その特徴的な形がひととき目を引きまします。堂々とした姿は、まさに神越溪谷を守っているように見えます。

神越溪谷は、春の桜やツツジ、秋の紅葉など、四季折々の綺麗な景色が楽しめるため、ツーリングやドライブに人気のスポットです。ぜひ美しい景色を堪能しながら「心岩」を訪れてみてください。

(あすけ通信編集委員 松下 萌)

いつもお読みいただきありがとうございます。今後もよりよい支所だよりをお届けするため、ご意見・ご感想・ご要望などいただければ幸いです。以下の連絡先へお気軽にご連絡ください。



人口と世帯数（令和7年2月1日現在）
人口 6,696人 世帯数 2,745世帯
令和6年度合計 出生10人 死亡99人

発行：豊田市役所足助支所 〒444-2424 豊田市足助町宮ノ後26-2
電話：市民生活担当 ☎62-0600 地域振興担当 ☎62-0601
FAX 62-0606 ✉asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

